

小学校再編準備専門部会 第Ⅰ回PTA地域部会協議事項

日時：令和8年7月2日（木）19：00～

場所：養老町役場 3階第2会議室

【出席者：9名】

◆PTA 地域部会部員：7名（9名の内、欠席者2名（中村 佳守雄委員、杉野 綾乃委員））

◆事務局 2名：早崎京子教育長、中島恵美教育委員会事務局長

1. 教育長あいさつ

小学校再編は「吸収」ではなく、新しい学校をつくるという考え方で進めている。校名・校歌なども新しく検討していく予定。地域とのつながりは再編後も大切にし、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動をさらに充実させたい。伝統ある地域活動も必要なものは引き継いでいきたい。「子どもファースト」を基本理念とし、子ども、保護者、地域の皆さんの気持ちに寄り添いながら学校づくりを進めていく。

2. 協議事項

（1）視察研修について

9月18日に岐阜市の藍川北学園を視察することを確認。新設校の運営やPTA組織、校歌・校章づくりなどを学ぶことを目的とする。PTA・地域部会からは3名参加予定。

（2）PTA活動の整理方法について

○各学校で行われているPTA活動について何があるか。

・資源回収、運動会準備、草刈り、家庭教育学級、地域との交流活動など。

➡ PTA活動を減らしてきた学校があること、地域との関わりが多い学校もあれば、そうでない学校もあり、学校間の違いも確認された。

○今後のPTAのあり方について

・PTAは単なる役員組織ではなく、保護者同士がつながる場である。

・学校を支える主体として保護者が関わることが重要。教職員だけでは学校運営が難しい時代であり、地域・保護者の協力が不可欠である。

・PTA活動は、学校独自をどう継続させていくかが課題

・新しい学校に「サービス」を求めるのではなく、保護者も学校づくりに参画する意識が必要

・人と人とのつながりを大切にしながら、持続可能なPTA組織を目指すことが重要

○地域との連携について

・子どもが減少しており、学校が遠くなると地域住民の関心が薄れる可能性がある。

・保護者が主体的に動くことで、地域も協力しやすくなる。保護者の意識が高まることで地域の協力も広がるのではないかな。

○情報発信等について

- ・「子どもファースト」のためには、大人の協力、地域の協力が必要。
- ・自分が出来ることは何なのかを保護者から出していけると良い。最後は、子どもを通わせる保護者がどう作って、どう関わっていくかを醸成していくことが大切である。いきなり醸成できるものではないので、委員である私たちがこの気持ちを持ち続けて、この機運を上げていくようにどう手を打っていくか、そして、保護者の機運が上がれば、地域も目を向けてくれるはず。
- ・子どもファーストの理念をもっと分かりやすく発信してほしい。

◆ 以上の協議内容を踏まえ、PTA活動をどう整理していくか。

- ① 各学校で現在行っている PTA 活動の「年間計画」「PTA 組織図」を持ち寄り、それを基に活動の洗い出しを進めていく。
- ② 9 月 25 日の郡町 PTA 役員会で説明し、各学校で話し合いを行う。
- ③ 整理した内容を、次回の PTA 地域部会（11 月～12 月頃）に持ち寄り、資料をもとに新しい学校の PTA 組織や活動内容を検討していく。